

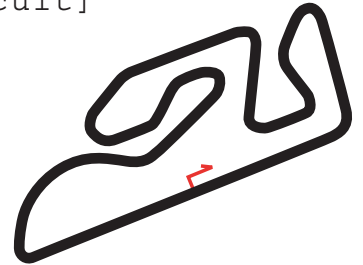
MotoGP rd.18 GP GENERALI DE LA COMUNITAT VALENCIANA
MORIWAKI RACING RACE REPORT**Moto2 class**

最終戦を迎えたMotoGP。チャンピオンを決めているエリアス選手がポールポジションを獲得。決勝はルティ選手がMD勢TOPの4位でフィニッシュ。

第17戦ポルトガルGPからの2連戦となった最終戦バレンシアGPは、3日間を通じて好天に恵まれ、フリー、予選、決勝と大接戦が繰り広げられた。その中で、今季3回目のPPから好スタートを切って、序盤からトップグループに加わったチャンピオンのT・エリアス(Gresini Racing Moto2)は、今季タイトル争いを繰り広げたA・イアンノーネ(SPEED UP)、J・シモン(SUTER)、T・ルティ(Interwetten Moriwaki Moto2)と優勝争いを繰り広げたが、最終ラップにブレーキングミス、イアンノーネと接触し、コースアウトを喫し30位だった。このハプニングで優勝したのは、トップグループに加わっていたK・アブラハム(FTR)。2位にイアンノーネ(SPEED UP)、3位にシモン(SUTER)、4位にルティという結果だった。

[Valenciana Circuit]

LENGTH 4,005m



第15戦マレーシアGP(モト2は14戦目)で今年からスタートしたモト2初代チャンピオンに輝いたエリアスは、凱旋レースとなった今大会、今季8勝目に闘志を燃やした。その目標に向けて予選では見事にPPを獲得して地元ファンの期待に応えたが、決勝では惜しくも、優勝と表彰台を逃した。しかし、最終ラップまで繰り広げられた熱戦に地元ファンも大満足。チャンピオンの熱い走りに大きな拍手を送った。

その優勝争いの中でルティが4位でフィニッシュした。予選は10番手。決勝はトップグループに加わったが、わずかに届かず4位。総合ランキングも4位でシーズンを終えた。今年第2戦スペインGPで3位になり初表彰台を獲得。第5戦イギリスGPで2位、第6戦オランダGPで3位、第7戦カタールニヤGPで2位と好走を見せた。しかし、中盤戦以降は、セッティングに苦しむ。後半戦の第13戦サンマリノGPで3位表彰台に立ったが、それ以降は表彰台を逃した。しかし、エリアスとともに、モリワキMD600のパフォーマンスをレースファンに披露した。

今大会、ワイルドカードで出場のX・シメオン(Holiday Gym G22)は、予選19位決勝15位でポイント獲得した。シメオンは、シーズン10戦に出場して、第5戦イギリスGPで8位になるなど注目を集めた。V・イワノフ(Gresini Racing Moto2)は、予選32位から決勝に挑んで29位。Y・ゲラー(Holiday Gym G22)は予選41位、決勝31位。今大会予選31位のニエトは、転倒リタイヤ。予選35位のF・ランボルギーニ(Matteoni GP Racing)は、予選35位、決勝リタイヤだった。

シーズン17戦を終えて、個人総合タイトルを獲得したモリワキ。エリアスのタイトル獲得で、記念すべき初代moto2チャンピオンのコンストラクターにモリワキの名前を刻んだ。コンストラクターズタイトルでは2位とタイトルを逃しただけに、来季は2冠を目標に全力を注ぐ。



MotoGP rd.18 GP GENERALI DE LA COMUNITAT VALENCIANA MORIWAKI RACING RACE REPORT

OT・ルティ(4位)

「今日はトップグループで戦うことが出来て良かった。この数戦、苦しいレースが続いていたし、優勝争いをしてシーズンを終えられて良かった。今回はいくつかのコーナーで問題を抱えていて、決して完璧ではなかった。何度かフロントのグリップを失い、リヤも滑り始めていた。しかし、表彰台に立とうと全力を尽くしたが、わずかに届かなかった。予選が10番手で3列目だったが、今回はスタートが良かったことに助けられた。今年はシーズン後半戦で思うようなリザルトを残せなかったのが残念だった」

OX・シメオン(15位)

「スタートに失敗して序盤遅れてしまった。それがなければトップ10フィニッシュでチェッカーを受けられたと思う。今日は37秒台で走れたし、混戦を抜けたときには、前のグループに反されてしまった。予選はクラッチに問題があって満足のいくアタックが出来なかった。それで19番手に終わったのが決勝に影響した。今年はフル参戦ではなかったけれど、たくさんのことを学べたので、この経験を来年はいかしたい」

OV・イワノフ(29位)

「シーズン最終戦だったので、何とか、ポイントを獲得できたらいいと思っていた。しかし、予選は32位。厳しいレースになることはわかっていたし、とにかく、予選よりも上の順位でフィニッシュしようと全力を尽くした。正直、もっと上の順位でフィニッシュしたかったが、それはかなわなかった」

OT・エアラス(30位)

「今日は200%の力を振り絞った。最終的にそれが原因でコースアウトを喫し、優勝と表彰台を逃した。シーズン中は、とにかく、今日のようなミスをしないように最新の注意を払って走った。しかし、タイトルを獲得して迎えたホームGPだったので、今日は勝つことだけを目標に全力で挑んだが、イアンノーネに接触してコースアウト、そして転倒してしまった。予選はPPを獲得することが出来た。開幕戦カタール、サンマリノ以来3回目のPPだったし、ニューシャーシーで獲得できたことも嬉しかった。残念ながら優勝することは出来ず、チームとモリワキには申し訳ないことをしたが、シーズンを通じて満足できる一年だった。チームとスタッフ、そしてスポンサーとモリワキに心から感謝したい」

OY・ゲラー(31位)

「最終戦だったので、もう少し上でフィニッシュしたかった。今回は1分39秒台のペースでトップから3秒の遅れていた。加えて、スタートに失敗して、何度かシフトミスをして、遅れてしまった。そのために1ラップ遅れになってしまい、悔しいレースだった」



MotoGP rd.18 GP GENERALI DE LA COMUNITAT VALENCIANA MORIWAKI RACING RACE REPORT

RESULT

Qualifying

POS	No	RIDER	TEAM	TIME
1	24	Toni ELIAS	Gresini Racing Moto2	1'36.141
10	12	Thomas LUTHI	Interwetten Moriwaki Moto2	1'36.821
19	19	Xavier SIMEON	Holiday Gym Racing	1'37.108
31	10	Fonsi NIETO	Holiday Gym G22	1'37.577
32	61	Vladimir IVANOV	Gresini Racing Moto2	1'37.587
35	70	Ferruccio LAMBORGHINI	Matteoni CP Racing	1'37.953
41	88	Yannick GUERRA	Holiday Gym G22	1'40.686

RACE

POS	No	RIDER	TEAM
4	12	Thomas LUTHI	Interwetten Moriwaki Moto2
15	19	Xavier SIMEON	Holiday Gym Racing
29	61	Vladimir IVANOV	Gresini Racing Moto2
30	24	Toni ELIAS	Gresini Racing Moto2
31	88	Yannick GUERRA	Holiday Gym G22

Not Classified

No	RIDER	TEAM
10	Fonsi NIETO	Holiday Gym G22
70	Ferruccio LAMBORGHINI	Matteoni CP Racing

World Championship Classification

RIDER POINT RANKING

POS	No	RIDER	POINT
1	24	Toni ELIAS	271
4	12	Thomas LUTHI	156
18	10	Fonsi NIETO	45
30	19	Xavier SIMEON	10
34	52	Lukas PESEK	5
36	51	Michele PIRRO	2
37	61	Vladimir IVANOV	2

CONSTRUCTOR CHAMPIONSHIP

MORIWAKI MD600 RANKING / 2nd

2010 Moto2 World Champion **Gresini Racing Moto2 | No.24 Toni ELIAS**



TOTAL OF 3 PAGE(S) INCLUDING THIS ONE